



## 市議会での本会議場傍聴席へ字幕表示モニターを設置(議事課)

相模原市議会では、音声認識表示システムを導入し、本会議場傍聴席へ字幕表示モニターを設置しました。これまで、より一層の「分かりやすく、開かれた議会」を目指し、議会運営委員会及び議会改革検討会において協議を進めてきたものであり、聴覚障害のある方などに配慮した、傍聴しやすい環境を整備したものです。

音声だけでなく視覚でも確認が出来るため、誰でも理解がしやすいと好評を頂いています。

### 1 概要

リアルタイムに音声を文字化するA I音声認識エンジンを活用し、傍聴席に新たに設置したモニターに発言内容を表示します。

### 2 実施時期

令和4年相模原市議会定例会9月定例会議から実施

### 3 対象とする会議

本会議



## ～すべての人々にやさしい窓口案内を実現～

### (南子育て支援センター・南保健センター)

ナッジ (nudge: 自らより良い方法を選択できるよう誘導するような仕組み) と、Zの法則 (人間の視線の動き) を活用し、窓口の環境を整備し、より円滑に案内できるようにしました。

- ・情報であふれた案内板を厳選しシンプルに。文字や色はユニバーサルデザインを採用しました。
- ・所属名称の吊り下げ看板には、呼び出しベルの存在と、矢印で位置を明記。
- ・自然な視線の動きを意識し、左上 右上の看板から左下にベルを設置することで、来所者を呼び出しベルに導く配置としました。
- ・床サインを設置し、2方向からの来所者にも対応。
- ・待合椅子にも呼び出しベルの存在を明記。
- ・2課で共有する窓口のため、テーマカラーを設けたサイン表示 (看板等) により、2つの対応窓口を区別しました。



相模原市ユニバーサルデザイン基本指針や、これまで発行されたユニバーサルデザイン通信は、市ホームページからご覧いただけます。

< ユニバーサルデザインに関する市ホームページ >

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kosodate/fukushi/1026643/1017128/index.html>

